

東通村と都市部との交流事業 ～東京都北区立浮間中学校2年生職場体験学習～

浮間中学校が東通村で第一次産業職場体験学習を実施するのも今年度で5回目となりました。平成26年度から始まったこの浮間中学校の職場体験学習で今年度の参加生徒8名（男子4名、女子4名）を含め、これまで38名の生徒が来村しました。その中には、浮間小学校5年生の時、「東通村のわらしを訪ねる会」で東通村に来たことがあるという生徒もいます。

実は、この東通村での職場体験学習への参加希望者は6名から8名という枠の中、毎年20名前後の応募があるそうです。単純に計算すると浮間中学校歴代5年間の2年生100名前後が東通村で職場体験したい、東通村に来てみたいと考えていることとなります。希望者は全員、東通村での職場体験学習

にかけの想いを綴った作文を書き、東通村で職場体験する意義などを問う面接試験を受け、厳選なる審査のもと

難関を突破し、狭き門を通り選ばれた生徒だけが東通村で第一次産業の職場体験ができるというシステムになっているそうです。それだけ熱い想いで実際に東通村を体感したいという気持ちが浮間中学校の生徒の中に芽生えてくるのは、生徒や保護者同士の口コミ、先生方からの宣伝もあると思いますが、東通中学校が赤羽で行う村PR活動でのアンケートの集計を見ると、これまで、東通村の魅力を発信し続け、地道に東京都北区との友好関係を構築してきた結果の表れだと言っても過言ではないと感じています。

さて、今年度の職場体験学習は、山崎農園、村田農園、尻屋漁業協同組合、岩屋漁業協同組合、野牛漁業協同組合、東通村産業振興公社、松木昭一氏宅（家庭菜園）の7ヶ所で行われました。浮間中2年生の生徒たちは、7月4日（水）から6日（金）までの2泊3日で職場体験学習

と東通村ジオパークツアーを実施しました。悪天候の中、度重なるスケジュールの変更等もありましたが、生徒たちは、東通村での第一次産業体験とホームステイ体験を満喫しました。今年度は、初めての試みで、家庭菜園を営むご家庭での畑仕事、そして、そのご家庭でホームステイという生活密着型の体験学習という新たなスタイルで3日間を過ごした生徒もいました。

短い期間の滞在ですが、東通村に入る前の緊張した顔から、日を追うごとに、凛々しく清々しい顔に変わっていく様子が印象的でした。最終日、生徒たちは、「まだ帰りたいくない」、「まだ終わりがたくない」と話していました。東通村の魅力にとりつかれた都会の中学生がまた8名増えました。

ご協力いただきました方々に感謝いたします。ありがとうございました。



山崎農園（目名）にて職場体験



野牛漁業協同組合にて職場体験



村田農園（上田屋）にて職場体験